

哈尼族草頂土掌房における住様式の持続と変容  
- 中国雲南省・伝統的土掌房住居の空間概念に関する研究-(その1)

正会員 中島 寿 \*2  
徳永 悠二 \*2  
佐藤 一之 \*1  
真野 洋介 \*3  
初見 学 \*4

ハニ族 草頂土掌房 変容過程 エントランステラス

研究目的

中国雲南省に居住する土着的民族の多くは厳しい自然条件、社会条件の中、独自の伝統的文化を維持し、多くの時間をかけゆっくりと変化し、理想をもって洗練された集落社会を形成してきた。しかし近年の急激な近代化の影響を受け、これまでの土着的集落で起こっていた変化とは異なる変化も起きている。本研究は雲南省南部に居住する哈尼族の二種類の土掌房集落を対象とし(図.1)、近代化という急激な変化の中で持続されている要素、変容していく要素と対応している住人の要求・意識を抽出する。そして、抽出した要素の差異と類似を考察する事で、このような条件の下に集合して住まう上での現在における基本的要求や、重要視されている住文化を明らかにする事を目的とする。

調査概要(図.1)

1999年度から行っている一連の土掌房集落調査から哈尼族の草頂土掌房に焦点をあて、2002年10月に予備調査を行った。予備調査により、大別すると土掌房という建築形式に分類されるが、同じ哈尼族の土掌房住居において、住居形態に大きな差異の見られる二種類がある事が明らかになった。本調査では、各々異なる住居形式であり独自の発展変容過程にある二集落を対象集落とし、2003年7月から8月にかけて集落図、特定住居詳細図、簡易間取り図、集落断面図を採取し、生活観察、家族構成や住まい方に関するヒアリングを行った。

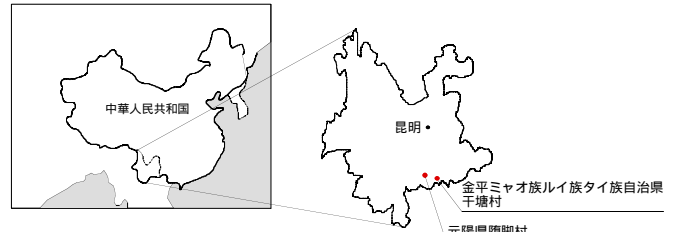


図.1 雲南省地図

集落概要(表.1)

墮脚村集落概要(図.2)

墮脚村は海拔 2500 m 程の北側に山頂、南側に谷という山岳斜面地の山腰に、ほぼ円形に密集して立地する。集落谷側には、一面に棚田が広がり、生業である農業を行っている。棚田の近くに居住するというのが斜面地に集落を構える要因の一つである。集落下方にある池の側に集会所があり、日中の男の居場所となっている。女性は集落内に7つある水場や、農作業を行いながらコミュニケーションをとっている。集落内の路地の構成は、斜面方向に通る主導線としての路地と、そこから枝分かれして等高線方向に通る副導線としての路地がある。住居は副導線に沿って等高線方向帯状に配置される。等高線方向の隣家との住居間隔は非常に狭い。住居は山を背にし、谷側に入り口を設ける為、住居へは全て谷側の副導線からアクセスする。

集落名	墮脚村(dou jiao cun)
海拔/立地	海拔2500m / 山岳斜面地
人口	747人
世帯数	168戸(内102戸調査)
構成民族	ハニ族100%
成立時期	約400年前
生業	農業

表.1 墮脚村集落概要

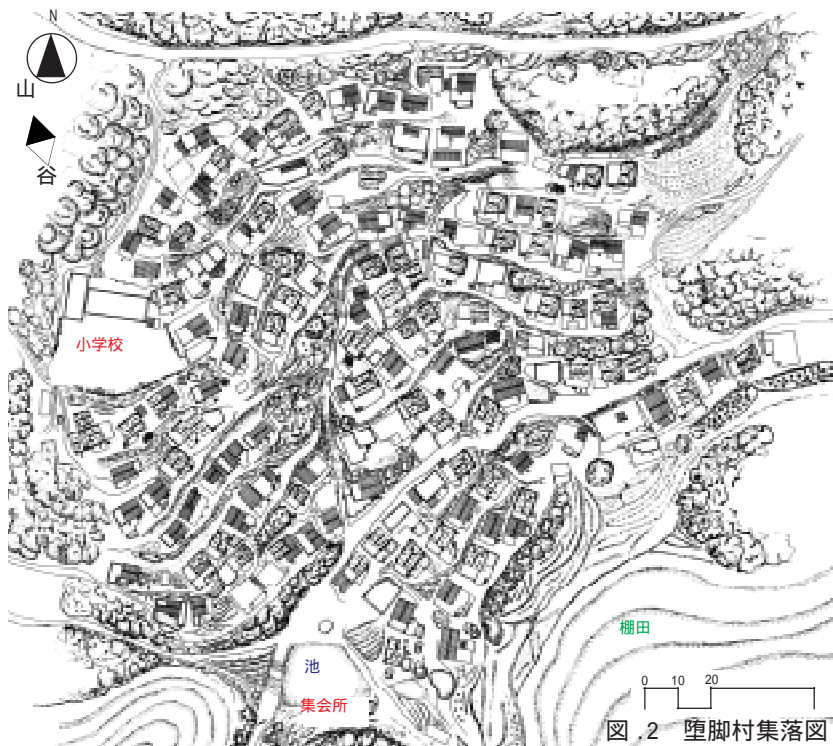


図.2 墮脚村集落図

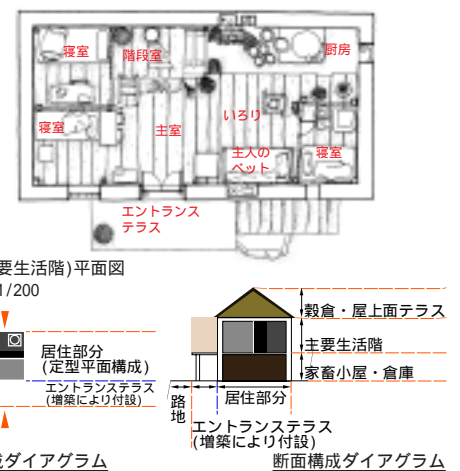


図.3 墮脚村典型住居基本構成図

Continuation and Transfiguration of house desing and livenginst"QAO DING TU JUNG FUNG" of Hani-minority

~ A research on the space general idea of the traditional fong jdwglling in Yunnan province China,Part ~

Hisashi NAKAJIMA et al

墮脚村

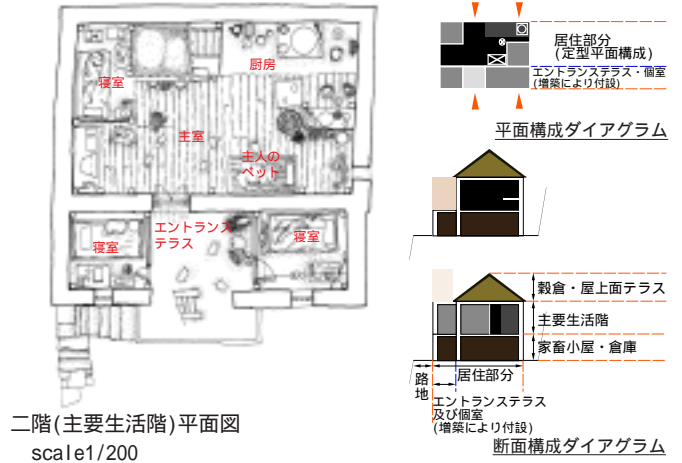
典型的住居構成(図.3・4)

墮脚村で最も多くの事例が見られ、典型的構成である住居は、柱間が間口4スパン・奥行き2スパンで構成され、接地階が家畜小屋、倉庫として利用される。非接地階である二階が主要生活階となる。山側(住居奥側)は土間で、かまどのある厨房となる。残りの部分が板間となり、いりり、主人のベット、が置かれ居間的な性質を持つ主室と、木壁で仕切られた個室が設けられる。三階は2/3に藁葺きの片側寄せ棟の屋根が架けられ穀倉として利用される。残りの1/3はテラスとなり日中の穀物を干す場所として使われる。エントランス前にはテラスが設置される。このエントラステラスは、日中の作業場、居場所として利用され、外部の居間的な性質がある。住居へはエントラステラスに設置された屋外階段からアクセスする。

住居形態の変容(表.2)

住居形態の変容を見ていくと、最も古い形式の住居は接地階に主室があり、間口・奥行き共に2スパンで構成されている。最も初期段階に、接地型住居の間口方向の柱スパンの拡大が行われる。その段階からの変容段階は以下の四段階に大別する事が出来る。

表.2



二階(主要生活階)平面図 scale1/200

図.4 墮脚村典型的住居増築構成図

主室の非接地階への移行。  
エントラステラスと屋外階段の設置。  
エントラステラスを囲む個室の増築。(図.5)  
機能の分離(厨房の独立)。



\*1 スターツ株式会社 工修

\*2 東京理科大学理工学研究科

\*3 東京工業大学大学院 助教授・工博

\*4 東京理科大学理工学研究科 教授・工博

Starts Co.,Ltd.

Graduate School of Engineering, Tokyo University of Science.

Asso.Prof., Tokyo Institute of Technology, Dr.Eng.

Prof., Graduate School of Science and Engineering, Tokyo University of Science, Dr.Eng.